

印西市の部活動地域移行〔展開〕について

【部活動改革（地域移行〔展開〕）の施策】

令和4年12月『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン』
(スポーツ庁・文化庁)

令和5年 3月『地域全体で子どもたちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方
に関するガイドライン』(千葉県教育委員会)

【全国的な部活動の課題】

少子化が進み、将来的に学校単位での部活動の運営が困難
働き方改革の中で、専門的な指導経験のある教員が顧問を務める体制が困難

【印西市の部活動の実態・課題】

大規模校と小規模校が混在しています。

- ・ひとつの部活動あたりの部員数（多：80人／少：2人）の格差
- ・学校ごとの設置部活動数の格差
 - 部員数が少ない → 休部や廃部が進み、選択できる種目が少ない
 - 部員数が多い → 部活動の新設を考えても十分な活動場所がない
- ・性別的部活動の設置の格差
 - (例) 女子バレーボール部はあるのに、男子バレーボール部はない
- ・学校施設の格差
 - 活動したくても体育館等の施設に余裕がない学校と空いている学校がある
- ・自分の学校にやりたい種目の部活動が設置されていない

- 持続的に、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ機会の確保
- ⇒ ○地域のスポーツ・文化資源、人材の活用と生徒のニーズに応じた多様な活動
- 社会全体、地域全体でスポーツ・文化芸術活動の環境や機会の保障

【印西市の部活動地域移行〔展開〕の方針】

休日に活動のある部活動の種目【陸上競技・サッカー・バスケットボール（男女）・卓球（男女）・バレーボール（男）・バドミントン（男女）・硬式テニス（男女）・ソフトテニス（男女）・柔道・剣道・吹奏楽】を地域クラブ化していき、令和8年9月から本格的に部活動地域展開を実施します。活動費の一部をご家庭からの負担（年会費5000円程度・月会費3000円程度）で運営していきます。

現在、令和7年9月から野球と女子バレーボールの2種目をモデルに指定し、地域展開しております。新人戦では、軟式野球、女子バレーボールともに印旛郡大会を勝ち抜き、県大会へ進出したクラブもございます。地域クラブの総称を「印西NEXUS」とし、地域のつながりや結びつきを大切にしながら活動してまいります。大会についても、印西NEXUSやクラブ（体操・水泳）ごとに参加します。

